

# 新議長に石田氏、副は渡邊氏

## 議会人事決まる



臨時議会が20日に開催されました。議員の任期4年の折り返し点を迎えたことで、正副議長、常任委員会、特別委員会委員の選任等が行われました。

注目された議長選挙では、投票の結果、滝沢一成議員が14票、石田裕一議員が18票を獲得し、石田新議長が誕生しました。

投票前に行われた議長候補者の所信表明で石田議員は、①議会基本条例に基づき、中立、公正な議会運営に努める、②議会でもICT化を推進する、③議会報告会・意見交換会の見直しを進める、と3つの公約を掲げました。今後の議会運営に注目していきたいと思えます。



今回の議長選にあたっては、臨時

【ハナウド】セリ科の多年草。漢字で「花独活」と書きます。草丈は1花～2花、葉の縁には鋸歯があります。似た花を咲かせる「シシウド」では葉は丸い。生育場所は山野のやや湿り気があるところ。花期は5月～6月。花言葉は「忘れてしまった思い出」です。写真は16日、柿崎区竹鼻で撮影しました。

議会の前日午前までに予定候補者から日本共産党議員団への支援要請はなく、私が出馬を予定していましたが、前日の午後になって、滝沢一成議員から支持してほしいと要請がありました。この要請を受け、議会基本条例遵守、少数意見の尊重などを内容とした確認書と同議員と日本共産党議員団で交わり、協力することにしました。

副議長選は、日本共産党議員団の平良木哲也議員が5票、渡邊隆議員が22票、宮越馨議員が2票、無効が3票という結果となり、渡邊議員が当選しました。

副議長選でも投票前に所信表明が行われました。

平良木議員は、「議長および副議長は、上越市議会基本条例を遵守するとともに、その趣旨を日常の議会運営において実現するためのあらゆる努力を行うべき存在である」と考える。議会基本条例は、第2条において議会の活動原則について述べており、その基本的内容は、公正性及び透明性の確保と開かれた議会を目指すこと、市の意思決定を行うとともに審議及び審査内容について市民への説明責任を果たすこと、市政運営の監視及び評価を行うこと、政策立案及び政策提言に取り組むこと等々であるとしている。また、第

4条において議長の責務を規定しており、「議長は、議会を代表して中立公正な職務遂行に努めるとともに、議会の品位を保持し、民主的かつ効率的な議会運営を行わなければならない」と定めている。この点は副議長についても同様であり、議長及び副議長は、議会の活動原則に則り、高い倫理観を持って誠実にその職務を遂行し、自らの言動等に責任を持つこととともに、先頭に立って不断の研さんに努め、自己の資質を高めることが必要であると考える」などと訴えました。

私は総務と災害対策所属に

上の表は各常任委員会、特別委員会の構成です。二重マルがついた委員は委員長、単なるマル印がついたのは副委員長です。私は今回も総務常任委員会、災害対策特別委員会の所属です。災害対策特別委員会では副委員長を務めます。

### 常任委員会委員名簿

総務常任委員会	厚生常任委員会	農政建設常任委員会	文教経済常任委員会
安田佳世	小山ようこ	宮川大樹	木南和也
宮崎朋子	鈴木めぐみ	山田忠晴	○高橋浩輔
○高山ゆう子	○ストラットン恵美子	◎丸山 章	宮越 馨
石田裕一	中土井かおる	○橋本洋一	本山正人
◎滝沢一成	牧田正樹	波多野一夫	◎池田尚江
栗田英明	平良木哲也	飯塚義隆	小林和孝
江口修一	大島洋一	武藤正信	渡邊 隆
橋爪法一	◎杉田勝典	こんどう彰治	上野公悦

### 特別委員会委員名簿

災害対策特別委	人口減少特別委	通年広域観光特別委
◎宮崎朋子	小山ようこ	◎安田佳世
牧田正樹	ストラットン恵美子	高山ゆう子
本山正人	中土井かおる	丸山 章
橋本洋一	○宮越 馨	滝沢一成
波多野一夫	石田裕一	杉田勝典
渡邊 隆	平良木哲也	飯塚義隆
こんどう彰治	◎大島洋一	武藤正信
○橋爪法一	栗田英明	○上野公悦



ヤマシャクヤク。大島区菖蒲にて。

# はしづめ法一の活動レポート

No.2062 2022.5.29

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第七〇九回 野に咲く花は

毎年、五月の下旬になると、ひとつの野の花のことが気になります。白色または薄紫色の花を咲かせ、ミヤマヨメナです。

この花のことを初めて知ったのは、いまから二十数年前の五月下旬か六月上旬の頃でした。当時、旧源小学校校長の高橋先生が通勤の途中、吉川区米山（こめやま）地内で見つけたと教えて下さったのです。

私がこの花に強い関心を持ったのは、「ミヤマヨメナ」という花の名前です。漢字で「深山嫁菜」と書きますが、私はこの花に、「奥深い山の中に住む、一度会ったら忘れることのできない美しい女性」というイメージをいだいてしまったのです。もちろん、それまで見たことがない花だったということもありますが……。

高橋先生から花が咲いている場所をしっかりと教えていただいたので、私はその日のうちに現地へ足を運びました。車から降りると、町道（当時）脇の杉林の一角にその花の群生地がありました。

何本かの杉の根元付近に、数十本の花がひっそりと咲いていました。花の大きさは四、五〇センチ、不揃いでしたが、一つひとつの花はキリリとして美しい。花びらは一枚いちまいはつきりと見え、秋に咲くノコンギクやヨメナと似た感じの花の形でしたので、すぐにキク科の花だとわかりました。そして葉は鋸歯でありながら、優しさを感ずりました。葉先が上ではなく、横に伸びていたせいかも知れません。

当時、キク科の花は秋に咲くものという先入観が私にはありました。それだけに目の前にあるミヤマヨメナはとても新鮮でした。花の大きさは直径で四、五センチ。色も私の好きな薄紫色です。「よく咲いてくれた」と一目ぼれしてしまいました。

以来、私はミヤマヨメナを探すようになります。米山以外で最初に見つけたのは吉川区東田中地区です。ここも杉林のなかで

したが、群生の規模は一〇坪近くもありました。さらに源地区や柿崎区などでも見かけました。

驚いたのは、数年前のことでした。地元町内会で草刈りをしていて、ミヤマヨメナを見つけたのです。あちこち探していたのですが、まさかわが家からそう遠くない場所に群生地があるとは思いませんでした。

今年五月二十四日に地元代石（たいし）の群生地でもミヤマヨメナの花の姿を確認しました。花の開き具合から言って、開花はその四、五日前頃だったと思います。

言うまでもなく、私が気になる野の花はミヤマヨメナだけではありません。毎月、その月ならではの気になる野の花がいくつもあります。三月はキクザキイチゲ、四月はコシノコバイモといった感じです。

六月になれば、吉川区が生育地の北限と言われているササユリです。ピンクや白の花を咲かせ、楽しませてくれます。ここ数年は白とピンクの花の競演を写真に収めることが一番の楽しみになっています。

このササユリは、私が吉川区の山間部に住んでいたときには知らない花でした。ユリ科の野の花としてはヤマユリとオニユリくらいしか知りませんでした。そしてヤマユリがユリ科の王様だと思ってきました。でも六角山の散策でササユリを見つけてからは、ササユリこそ王様です。

ミヤマヨメナを含め野の花のほとんどは人に知られることもなく、そっと咲き、そっと散っていくだけです。しかし、そうであったとしても、花の時期になれば、野を彩り、至高の美をつくりだします。見事としか言いようがありません。

あと三日で六月です。そろそろササユリが開花するはずですが、ヒメサユリのような派手さはないものの、慎ましく咲く姿には毎年感動しています。今年はどんな花姿を見せてくれるのでしょうか。

## 平田真義さんが「国家総動員法」などの資料を解説

5月15日、市民プラザで開催されていた「今日の平和展2022」で板倉区の平田真義さんが自分で集め、展示した資料について解説してくださいました。

展示されていた資料は、戦前の「国民精神総動員」運動や「国家総動員法」関連のもの。平田さんは、その実態や影響などについて明らかにしました。出版物や野球などから英語が消えたことなど話は尽きませんでした。素晴らしい解説でした。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月18日(水)	5月25日(火)
上越南消防署	0.057	0.053
上越北消防署	0.050	0.043
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.043	0.047
頸南消防署	0.067	0.060
東頸消防署	0.043	0.047
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.047	0.043

### 聴信寺の掲示板

直江津の三八市通りにある寺院、聴信寺の掲示板が変わりました。

「あなたが当たり前だと思ふこと 相手にとってはどうだろうか」

こういう視点で自分のやっていることを振り返ることは大事ですね。

